

当院検査部にて臨床検査を受けた患者さんへ

東京大学医学部附属病院検査部では、新しい臨床検査法の開発のため、臨床検体を用いて、生理活性脂質その関連物質の測定を行っております。

【研究課題】

生理活性脂質とその関連物質の測定の臨床検査への応用に向けた基礎検討

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院 検査部

研究責任者 教授・矢富 裕、講師・蔵野 信

担当業務 データ収集・匿名化・検体測定・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野 青木淳賢教授

担当業務 質量分析

【研究期間】

2009年06月08日～2020年06月07日

【対象となる方】

2009年06月08日～2020年06月07日に当院検査部で臨床検査（血液、尿、体腔液など）を受けた患者さん

【研究の意義】

生理活性脂質は、日本が中心となって基礎研究が進んでおりますが、実際の患者さんにおいて本当に生理活性脂質が疾患と関連があるかは不明です。本研究により、生理活性脂質の臨床的意義が解明されれば、新しい臨床検査法として医学・医療の発展に寄与することができると考えております。

【研究の目的】

本研究では、生理活性脂質（具体的には、リゾリン脂質、エイコサノイド）およびその関連蛋白の測定法を、臨床検体を用いて基礎検討を行い、将来の臨床検査への応用の基盤を作成することを目的とする。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータ（性別、年齢、診断名、血算・生化学検査等の基本的検査情報）、および残余検体（血液、尿、体腔液）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

★本研究では、一部の検体を匿名化した後、配達記録が残る宅急便を用いて共同研究期間である東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野 青木淳賢教授に送り、質量分析法にて検体の解析を行います。検体は青木淳賢教授の責任で管理され、測定後廃棄されます。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当研究室において蔵野 信が、本人のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン、鍵のかかる冷凍庫で厳重に保管します。そのため、同意を取り消すこと及び個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

また、あなたの一部の人体試料は、東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、配達記録が残る宅急便により送付いたします。東北大学大学院薬学研究科分子細胞生化学分野においては、青木淳賢教授が、鍵のかかる冷凍庫で厳重に保管します。また、解析後、検体は破棄されます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記の研究事務局までご連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会・学術論文で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後10年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・病態診断医学講座の運営費、矢富 裕、蔵野 信が代表を務める学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金から支出されています。

本研究では、東ソー株式会社より測定試薬（オートタキシン、PS-PLA1）の提供を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、東ソー株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2017年5月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院 検査部・講師 蔵野 信

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411 FAX：03-5689-0495

Eメールでのお問い合わせ：kurano-tky@umin.ac.jp